

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	二松学舎大学
設置者名	学校法人二松学舎

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
文学部（旧課程）	国文学科	夜・通信	2	46	20	68	13	
	中国文学科	夜・通信			4	52	13	
	都市文化デザイン学科	夜・通信			2	50	13	
国際政治経済学部（旧課程）	国際政治経済学科	夜・通信	66		8	76	13	
	国際経営学科	夜・通信			32	100	13	
文学部（新課程）	国文学科	夜・通信	2	46	20	68	13	
	中国文学科	夜・通信			4	52	13	
	都市文化デザイン学科	夜・通信			0	48	13	
	歴史文化学科	夜・通信			0	48	13	
国際政治経済学部（新課程）	国際政治経済学科	夜・通信	34		8	44	13	
	国際経営学科	夜・通信			32	66	13	
(備考) 2022年4月から新課程（完成年度までの計画に基づき記載） 文学部歴史文化学科は2022年4月新課程で開設								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学シラバス検索システムにて「実務経験のある教員による授業」で絞り込み検索が可能。 https://www.nishogakusha-u.ac.jp/campuslife/about/syllabus.html
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	二松学舎大学
設置者名	学校法人二松学舎

1. 理事（役員）名簿の公表方法

大学ホームページ (<https://www.nishogakusha-u.ac.jp/houjin/about/secchi.html>)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	前 預金保険機構 参与	2015.9.1 ~ 2023.8.31	企画、財務
常勤	前 東京都立武蔵野北 高等学校 校長	2022.4.1 ~ 2025.3.31	高大連携
非常勤	現 デンヨー株式会社 取締役	2019.9.1 ~ 2023.8.31	情報システム、 リスク管理等
非常勤	現 マネックス証券株式 会社執行役員	2019.9.1 ~ 2023.8.31	財務、広報等
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	二松学舎大学
設置者名	学校法人二松学舎

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画(シラバス)は、「シラバス作成のためのガイドライン」に則り、各授業科目担当教員が作成している。シラバスの記載項目は、①科目の基本情報(授業科目名、担当教員名、シラバスナンバー、対象学年、開講キャンパス、開講学期、単位数等)、②ディプロマポリシーとの関連、③身につく能力、④授業の概要・授業の目的、⑤到達目標、⑥キーワード、⑦履修条件、⑧アクティブラーニングの内容、⑨評価方法、⑩授業形式、⑪ルーブリック表等資料、⑫テキスト、⑬参考文献、⑭その他連絡事項、⑮担当要員への連絡方法(質問受付方法)、⑯実務家教員による授業、⑰授業計画(各学期15回分の授業計画及び事前・事後学修方法)の17項目に区分している。また、各担当教員が作成した授業計画(シラバス)については、適切な内容となっているかについて各学部教務委員会が第三者の視点によるチェックを行っている。</p> <p>授業計画(シラバス)の公表については、学修ポータルシステムLiveCampusによるほか、広く一般にも公表すべく本学ホームページからも閲覧できる形を整えている。当該年度の授業科目の授業計画(シラバス)については、学生の履修登録が円滑に行われるよう前年度末の3月に公開している。</p> <p>シラバス作成のためのガイドライン https://www.nishogakusha-u.ac.jp/about/disclosure/common/pdf/guideline.pdf 各授業科目のシラバス 下段URL参照。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>大学HP https://www.nishogakusha-u.ac.jp/campuslife/about/syllabus.html</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>単位認定の方針に則り、定期試験の成績を前提としつつ、主体性、事前・事後学修の質・量、関心の深さ、思考の独創性等も含めた総合的な評価に基づき、各授業科目の到達目標に達していると認められる者について、単位認定を行うこととしている。</p> <p>また、授業中に行う発表やレポートの評価については、コモンルーブリックを策定し、各教員にはこれを使用して評価を行うよう推奨している。</p> <p>単位認定の方針について https://www.nishogakusha-u.ac.jp/about/disclosure/j_tani_nintei.html</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価の客観的な指標として、GPA制度を採用している。GPAの使用に際しては、本学では各授業科目の成績評価として、試験の得点等の区分によってS・A・B・C・D・X・Y・Zの評語を用い、それぞれの評語にGP（グレードポイント）を設定し、以下のGPA算出方法により算出している。</p> <p>評語の得点区分は、S（90点～100点）・A（80点～89点）・B（70点～79点）・C（60点～69点）・D（59点以下）・X（出席不足による無効）・Y（試験の不正行為による無効）・Z（他大学等による単位認定）とし、また、評語に対するGPはS＝4.0・A＝3.0・B＝2.0・C＝1.0・D＝0.0とし、X及びYはいずれも0.0としている。</p> <p>これらの指標等は、全学生に配付する履修要項や本学HPにおいて公表し、教員に対しては、全教員に配付する出講案内において周知している。</p> <p>(計算式)</p> $(S \text{ の単位数} \times 4.0) + (A \text{ の単位数} \times 3.0) + (B \text{ の単位数} \times 2.0) + (C \text{ の単位数} \times 1.0) + (D, X, Y \text{ の単位数} \times 0.0) / \text{全履修科目単位数 (課程等の科目を含める)}$ <p>成績評価基準については下段URL参照。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>本学 HP https://www.nishogakusha-u.ac.jp/about/disclosure/j_seisekihyoka.html</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学では、卒業の認定に関する方針を、「大学」「学部」「学科」単位でそれぞれ策定している。</p> <p>同方針では、学部等の目的に応じた学修を通じて、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」の各領域について所定の能力を身に付けた者に対し卒業を認定し学位を授与する旨を明示している。なお、同方針の具体的な内容についてはHPに掲載のとおり。</p> <p>これら卒業の認定に関する方針に基づき策定した教育課程の編成及び実施に関する方針では、各授業科目の学修を通じて身に着く具体的能力を明示しており、これらの能力を修得できているかどうかを判断する基準として、進級要件（2年次から3年次）及び卒業要件を設けている。</p> <p>これらの要件は各学部で定めており、最終的に卒業要件を充足し124単位以上を取得した学生について卒業を認定している。卒業認定に当たっては、各学部とも教務委員会において判定の原案を作成し、教授会で卒業判定の審議を行っている。関連URLは下段アドレスのとおり。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>文学部 https://www.nishogakusha-u.ac.jp/faculty/bungakubu/admissionpolicy.html</p> <p>国際政治経済学部 https://www.nishogakusha-u.ac.jp/faculty/kokusaiseikeigakubu/admissionpolicy.html</p> <p>https://www.nishogakusha-u.ac.jp/about/disclosure/j_sotsugyonintei.html</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	二松学舎大学
設置者名	学校法人二松学舎

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.nishogakusha-u.ac.jp/houjin/jigy/pdf/2021jigyohoukokusyo.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.nishogakusha-u.ac.jp/houjin/jigy/pdf/2021jigyohoukokusyo.pdf
財産目録	https://www.nishogakusha-u.ac.jp/houjin/jigy/pdf/2021jigyohoukokusyo.pdf
事業報告書	https://www.nishogakusha-u.ac.jp/houjin/jigy/pdf/2021jigyohoukokusyo.pdf
監事による監査報告(書)	https://www.nishogakusha-u.ac.jp/houjin/jigy/pdf/2021jigyohoukokusyo.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:全学アクションプラン 対象年度:2021)
公表方法: https://www.nishogakusha-u.ac.jp/houjin/masterplan/pdf/actionplan_2021.pdf
中長期計画(名称:N'2030 Plan 対象年度:2017~2030)
公表方法: https://www.nishogakusha-u.ac.jp/houjin/masterplan/pdf/n2030plan.pdf

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.nishogakusha-u.ac.jp/about/torikumi/gakumu.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.juaa.or.jp/search/detail.php?id=285&page=24#result1

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 文学部
<p>教育研究上の目的 (公表方法：https://www.nishogakusha-u.ac.jp/about/disclosure/j_mokuteki.html)</p> <p>(概要) 文学部は、国文学科、中国文学科、都市文化デザイン学科、歴史文化学科の 4 学科を設け、国文学・中国文学・語学・文化学・歴史学等の学問及び表現力や情報発信力等の素養を身につけ、さらに日本文化、東洋文化を理解し、異文化に対する深い理解を備えた真の国際人を育成し、教育界をはじめ産業界など、社会のあらゆる分野で活躍する優れた人材を養成することを目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：https://www.nishogakusha-u.ac.jp/faculty/bungakubu/admissionpolicy.html)</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.nishogakusha-u.ac.jp/faculty/bungakubu/admissionpolicy.html)</p> <p>(概要) 文学部では、文学部の学位授与方針に掲げる知識・能力等を身に付けた人材を育成するため、大学が定める教育課程の編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)に基づき、「二松学舎共通科目」「学部共通科目」「学科共通科目」「専門科目」の科目区分を設け、授業科目の順次性を考慮した体系的な教育課程を編成する。 また、教育課程を実施するに当たり、各科目区分に配置する各授業科目に設定した目標に応じ、それぞれの授業は、講義、演習、実習、実技、専門演習(ゼミナール)のいずれか又はこれらの併用により、当該目標を達成するための適切な方法によって実施する。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.nishogakusha-u.ac.jp/faculty/bungakubu/admissionpolicy.html)</p> <p>(概要) 二松学舎大学文学部への入学を志望する者は、本学の建学の精神を理解し、本学が「求める学生像」と、志望学科の教育内容を十分把握した上で出願する必要がある。また、高等学校等で以下の 3 つの能力を身につけておくことが望まれる。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 高等学校等の課程で学ぶ各教科・科目の知識・技能 ② 身につけた知識等を活用して問題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力 ③ 意欲的に物事に取り組む態度(主体性・協働性等)

学部等名 国際政治経済学部
<p>教育研究上の目的 (公表方法：https://www.nishogakusha-u.ac.jp/faculty/kokusaiseikeigakubu/index.html)</p> <p>(概要) 国際政治経済学部は国際政治経済学科及び国際経営学科の 2 学科を設け、政治・経済・法律・文化などの各分野の国際政治経済事象を融合した教育研究や、企業経営を巡る諸領域についての教育研究を行う学部とし、東アジア諸地域に関する政治経済の実態やグローバル社会における企業経営の諸課題等を把握させ外国語運用能力を涵養し、国際的、学際的視野に立って国際政治経済及び国際経営を学問的に考究でき、かつ国際政治経済に関する豊富な実践的知識を修得した国際社会に貢献する有為な人材を養成することを目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：https://www.nishogakusha-u.ac.jp/faculty/kokusaiseikeigakubu/admissionpolicy.html)</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.nishogakusha-u.ac.jp/faculty/kokusaiseikeigakubu/admissionpolicy.html)</p>

(概要) 国際政治経済学部では、国際政治経済学部の学位授与方針に掲げる知識・能力等を身に付けた人材を育成するため、大学が定める教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、「二松学舎共通科目」「学部共通科目」「学科共通科目」「専門科目」の科目区分を設け、授業科目の順次性を考慮した体系的な教育課程を編成する。

また、教育課程を実施するに当たり、各科目区分に配置する各授業科目に設定した目標に応じ、それぞれの授業は、講義、演習、実習、実技、専門演習（ゼミナール）のいずれか又はこれらの併用により、当該目標を達成するための適切な方法によって実施する。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：<https://www.nishogakusha-u.ac.jp/faculty/kokusaiseikeigakubu/admissionpolicy.html>)

(概要) 国際政治経済学部への入学を志望する者は、本学の建学の精神を理解し、本学部が「求める学生像」と、志望学科の教育内容を十分把握した上で出願する必要がある。

また、高等学校等で以下の3つの能力を身につけておくことが望まれる。

- ① 高等学校等の課程で学ぶ各教科・科目の知識・技能
- ② 身につけた知識等を活用して問題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力
- ③ 意欲的に物事に取り組む態度（主体性・協働性等）

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：https://www.nishogakusha-u.ac.jp/about/disclosure/j_daigakusoshikizu.html

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					3人
文学部	—	26人	8人	3人	人	人	37人
国際政治経済学部	—	17人	5人	6人	人	人	28人
その他	—	7人	人	人	人	人	7人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
人			190人				190人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： https://www.acoffice.jp/niuhp/KgApp					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
本学では「Student First」— 最大の受益者は学生 —との理念の下に、教職員の意識改革や教育研究の 不断の改革、情報公開と社会的責任・コンプライアンス体制の充実といった課題に取り組んでいる。こ うした取り組みとして、FD講演会、公開授業、学生の実態・満足度調査・学生による授業アンケート、各 種意見交換会、大学教育学会への参加などのFD活動を実施している。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに
進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
文学部	440人	521人	118.4%	1790人	2020人	114.8%	30人	10人
国際政治経済 学部	240人	255人	106.3%	960人	1010人	105.2%	若干人	8人
合計	680人	776人	114.1%	2750人	3030人	111.4%	30人	18人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
文学部	460人 (100%)	18人 (4.0%)	366人 (79.5%)	76人 (16.5%)
国際政治経済 学部	267人 (100%)	7人 (2.6%)	203人 (76.0%)	57人 (21.3%)
合計	727人 (100%)	25人 (3.4%)	569人 (78.2%)	133人 (18.3%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
進学先：二松学舎大学大学院、就職先：一般企業、各校種教員、公務員（地方行政・保安）他				

(備考)					
c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
文学部	500人 (100%)	429人 (85.8%)	37人 (7.4%)	34人 (6.8%)	人 (%)
国際政治 経済学部	285人 (100%)	241人 (84.6%)	20人 (7.0%)	24人 (8.4%)	人 (%)
合計	785人 (100%)	670人 (85.4%)	57人 (7.3%)	58人 (7.4%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 本学では授業計画の作成・公表に関して、「シラバス作成のためのガイドライン」を策定し、本学ホームページで公表している (https://www.nishogakusha-u.ac.jp/about/disclosure/common/pdf/guideline.pdf)。 また、各授業科目のシラバスは、全科目について本学ホームページで公表している。 (https://www.nishogakusha-u.ac.jp/campuslife/about/syllabus.html)

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 標準修業年限の4年間在籍し、各学部のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーに基づき策定されたカリキュラム上の諸要件を含み、卒業に必要な124単位以上を取得した学生について、それぞれの学部教務委員会及び教授会において卒業判定を行い、合格した者に卒業を許可し学位を学部長及び学長名で授与する。 (https://www.nishogakusha-u.ac.jp/about/disclosure/j_sotsugyonintei.html)				
学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
文学部	国文学科	124単位	有	40単位
	中国文学科	124単位	有	40単位
	都市文化デザイン学科	124単位	有	40単位
	歴史文化学科	124単位	有	40単位
国際政治経済学部	国際政治経済学科	124単位	有	40単位
	国際経営学科	124単位	有	40単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：本学HPによる https://www.nishogakusha-u.ac.jp/about/disclosure/j_seisekihyoka.html		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：本学ホームページによる。 https://www.nishogakusha-u.ac.jp/about/campus/index.html
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
全学部 全学部	共通	746,000 円	280,000 円	300,000 円	・2019 年度以前の入学者に適用 ・その他欄の内訳 施設費 250,000 円 休学中の在籍料(半期) 50,000 円
	共通	796,000 円	250,000 円	300,000 円	・2020 年度以降の入学者に適用 ・その他欄の内訳 施設費 250,000 円 休学中の在籍料(半期) 50,000 円

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要) 全ての教員によるオフィスアワーを実施し、学修についてのアドバイスや授業内容等についての質問等に対応している。</p> <p>年度初めに教職協働による履修相談を実施し、各学年にとってより適切な履修ができるよう相談に応じている。</p> <p>九段キャンパス 2 号館にラーニングコモンズを設け、学生の主体的な学習を支援するためのスペースや機材等を用意している。</p> <p>インターネットを介して利用できる英語自習システムを導入し、学生が時間や場所を問わず自由に学習できる環境を整えており、語学力向上のための支援を行っている。</p>
b. 進路選択に係る支援に関する取組
<p>(概要) キャリアセンターを設置し、各学部選任によるキャリアセンター委員とキャリアセンター事務課職員(キャリアコンサルタント等有資格者含む)の教職協働による指導を実施。一人一人が希望する進路(企業就職・教員・公務員・進学等)の実現を目指し、基礎ゼミナール(正課授業)、キャリア教育(正課授業)、就職対策講座(キャリアセンター支援事業)・進路指導面談等を通じて、将来を見据えた自分自身の人生計画を描き、自己成長するよう支援をしている。</p>
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
<p>(概要) 学生相談室では、充実した学生生活を送ることができるような悩み相談やアドバイス等の支援を行っている。相談内容によっては、より専門的な相談機関の案内や紹介を行っている。</p> <p>保健室では、看護師が常駐し応急処置や健康相談等に応じている。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

<p>公表方法：本学ホームページによる。</p> <p>https://www.nishogakusha-u.ac.jp/about/disclosure/johokokai.html</p>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F113310103386
学校名	二松学舎大学
設置者名	学校法人 二松学舎

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		236人	232人	214人
内 訳	第Ⅰ区分	135人	132人	
	第Ⅱ区分	54人	69人	
	第Ⅲ区分	47人	31人	
家計急変による支援対象者（年間）				—
合計（年間）				218人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	—		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	11人		
計	15人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	0人	前半期	後半期

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人		
GPA等が下位4分の1	25人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	25人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。